

第2回TRSサロンシリーズ報告書

荒木奏美－染みわたるオーボエの調べ－

つくばリサイタルシリーズ実行委員会

関珠暖 長田日和 樽川結

1. つくばリサイタルシリーズ実行委員会について

つくばリサイタルシリーズ実行委員会は、つくば市においてプロの演奏家を招聘し、クラシックコンサートをプロデュースする筑波大学の学生団体である。つくばの学生および市民が経済的に大きな負担を伴わず、本物のクラシック音楽に触れる機会を提供することを目的としており、2021 年で 10 周年を迎えた。通常プロの演奏を聴くためには、高額なチケットを購入する必要があったり、会場が東京などの大都市に限られていたりするため、クラシックに対して親しみにくい印象を抱く人も多い。その意識を変えるため、つくば市民にとって身近な場所で、手頃な価格でクラシックを楽しめることを目指した本シリーズの基本方針は、例年のアンケート結果を通じて来場された皆様からも高い評価を受けている。企業協賛やクラウド・ファンディングといった手段により資金を確保し、可能な限り低価格かつ高品質な演奏会を実現できている。

2. 事業の概要

事業名：第2回TRSサロンシリーズ『荒木奏美－染みわたるオーボエの調べ－』

実施日：2024 年 6 月 9 日

場 所：アルスホール

価 格：一般 1,500 円 学生無料(要申込)

出 演：荒木 奏美（オーボエ）

大崎 由貴（ピアノ）

曲 目：F.クーブラン/恋のうぐいす

江藤光紀/新緑の中で（初演）

M.ドラニシコワ/ポエム

G.フォーレ/夢のあとに

M.ラヴェル/《クーブランの墓》より〈メヌエット〉

M.ラヴェル/ハバネラ形式の小品

M.ラヴェル/水の戯れ

G.シルヴェストリーニ/《5つのロシアの練習曲》より

〈プロコフィエフへのオマージュ〉

F.プーランク/オーボエソナタ

3. 当日の様子



ミーティング



リハーサル



開場



演奏会中



終演

4. 活動の達成度

4-1 演奏会の趣旨について

第2回TRSサロン読売日本交響楽団首席オーボエ奏者の荒木奏美氏、ピアニストの大崎由貴氏をお招きし、演奏会を行なった。

TRSサロンシリーズとは、カピオホールで開催される通常のつくばリサイタルシリーズとは異なり、「小規模で贅沢、フレキシブルでユニーク」をコンセプトとしたコンサート企画である。

小規模であるからこそ演奏者と来場者の距離が近く、荒木氏や大崎氏の暖かな雰囲気も相まって、終始朗らかな演奏会にすることができたのではないかとと思われる。

4-2 広報について

今回は3月末に本演奏会のお知らせを開始し、6月中旬に本番を迎えた。4月に入学式を迎えることを踏まえ、新歓と同時に広報活動ができるような日程を組んだため、サロンシリーズの広報期間としては十分であったように感じる。実際にチケットの売れ行きも順調であった。今回はオンラインで出演者のお2人にインタビューを行い、広報コンテンツの充実や出演者のお2人との関係性の構築につなげることができた。

SNS運用に関して、X・Instagram・Facebookの各SNSに加え、YouTubeへの投稿もおこなった。今後、YouTubeという実利用者の多いコンテンツでの発信にも力を入れながら、幅広い年齢層への周知につなげていきたい。

ブログ投稿に関して、出演者紹介・プログラム紹介・進行報告・インタビュー記事・曲目紹介・当日案内などの演奏会の詳細に関する記事を投稿した。サロンシリーズでもリサイタルシリーズと同様に、曲目紹介を投稿したことが効果的であった。今回はブログ執筆者の偏りを解消できたと考えている。ブログ投稿は、活動に本格的に参加する前の進入会員の方たちにも参加してもらいやすい仕事であるため、積極的に執筆していただいて感謝している。

ポスター・チラシについて、ポスターが余ってしまったため、今回の正確な残数を確認した上で次回のサロンシリーズの目安を作りたいと思っている。

4-3 運営について

新年度となり、何人か新入生も迎えた上での運営となった。当日運営参加人数は10名、内4名が新入生であったため、運営経験者も少ない中迎えた本番ではあったが、サロンシリーズが小規模であったことや開催時間が遅かったことから、それほど大きなトラブルはなく終えることができたと思われる。最も大きな問題点としては、ホールに譜面台がなかったことが挙げられる。この問題に関しては、事前にホールについてよく調べておくこと、連絡を取り合うこと、あらかじめホールで借りるものや出演者と決める必要のある事項をリストアップしておくことなどを対応策として、次回以降に活かしていきたい。

また、もう一点問題として、事前のミーティングへの出席率が高くないことが挙げられる。ミーティングへの参加率が低いことによる一番の問題点は、各業務の進捗が把握しづらい点である。ミーティングへの参加を促すことはもちろん、ミーティングの参加者が少ない場合でも、業務の進捗状況を把握できるように委員と密接に連絡を取り合う必要があると思われる。

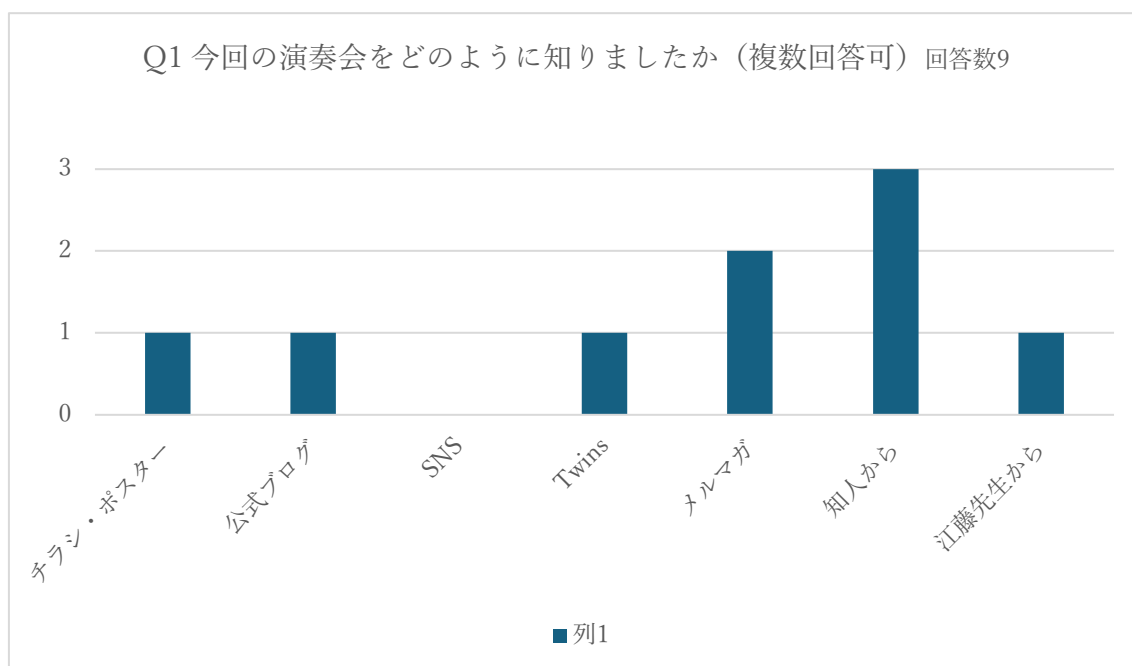
4-4 会計について

今回は一般チケットを一枚¥1,500 で販売した。teket での販売数は学生席48枚、一般席31枚となり、teket での売り上げは、¥51,500となった。今回は、ホールチケットおよび当日券は販売しなかった。今回は非常に早くチケットが完売し、却って広報を積極的に行う必要がなくなるという問題点も生じた。

また今回は、企業協賛はお願いせず、茗溪会、筑波大学社会貢献プロジェクトおよびつくば文化振興財団支援事業による助成を受けた。助成の内訳は、社会貢献プロジェクトからは調律費、録音費、印刷費としてご支援いただき、つくば文化振興財団支援事業から¥150,000の支援をいただいた。加えて「世界を変えよう基金」からも¥20,000 の支援をいただいた。今回は、クラウド・ファンディングは行わなかった。

今回、収入は計¥233,000、支出は計¥237,579となった。準備不足による想定外の出費が重なり、効率的な資金運用が不可能になると思われるため、事前の準備については入念に行いたい。

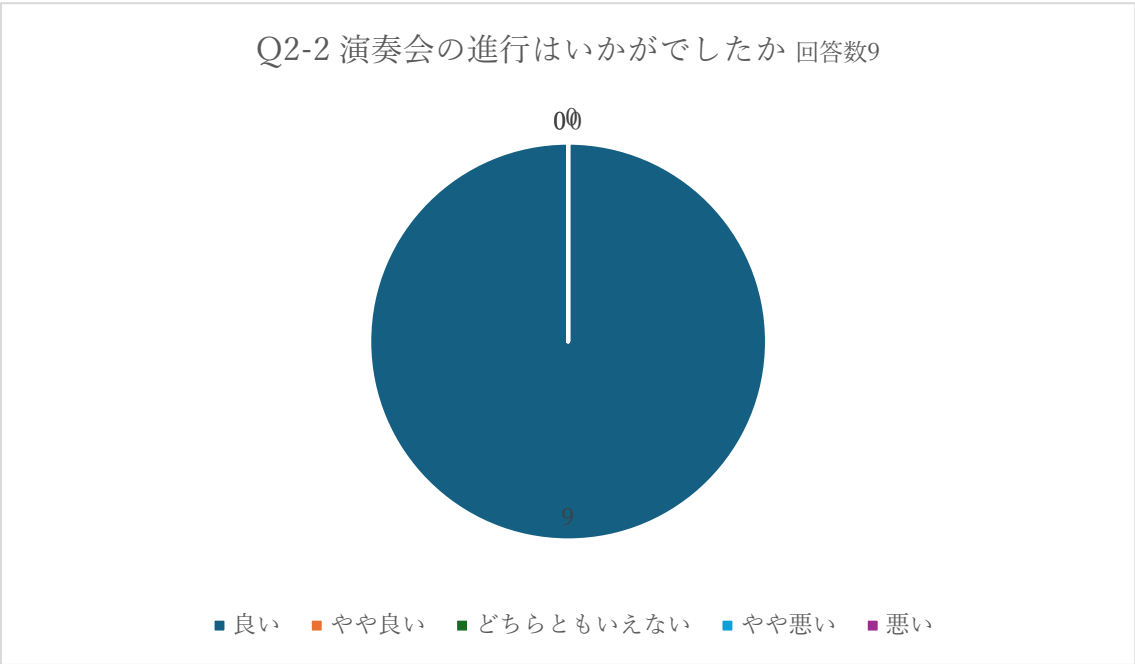
4-5 アンケート分析



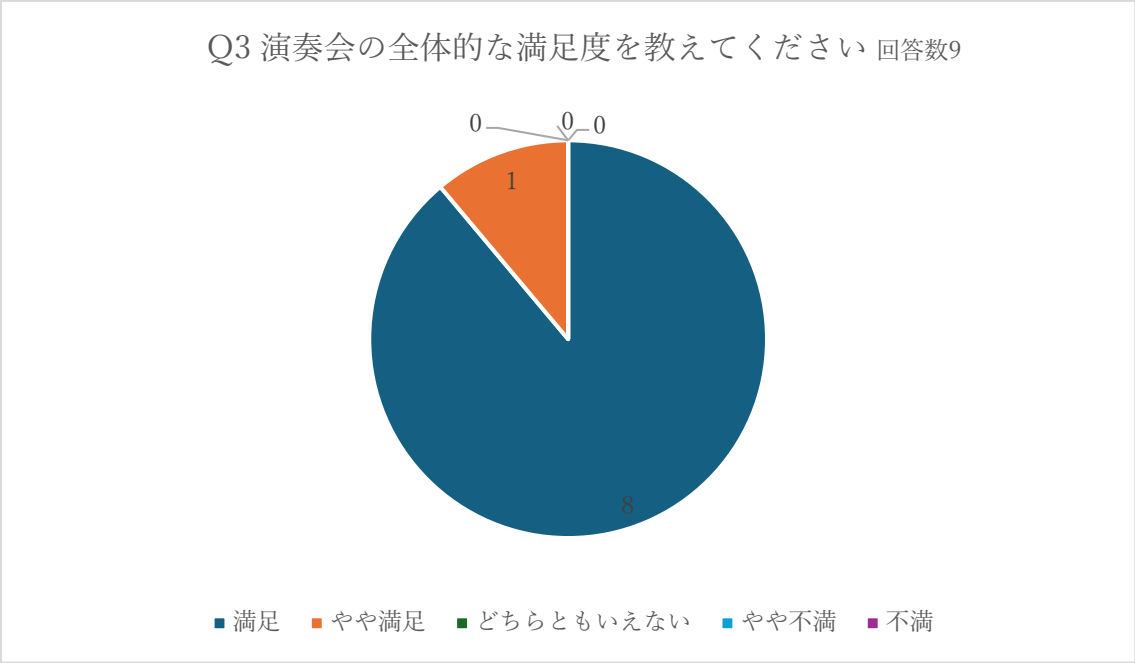
回答数が少ないので曖昧だが、SNSがきっかけの人がいないというのが意外だった。その他は比較的バランスよく宣伝に効果がみられる。



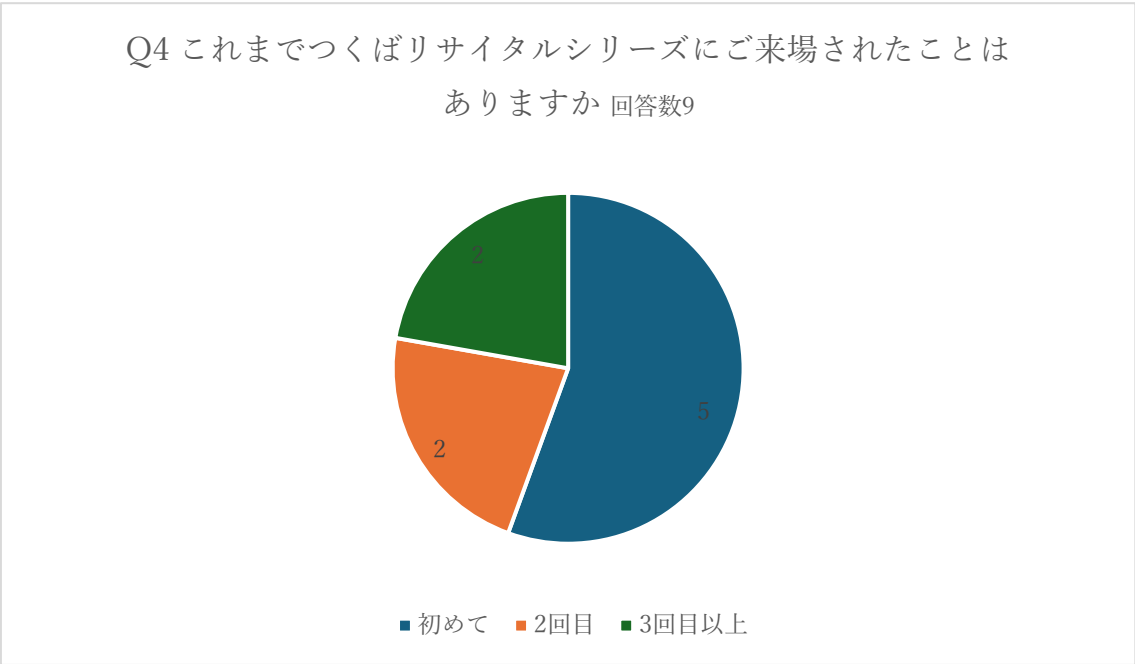
丁度良い時間設定だった。



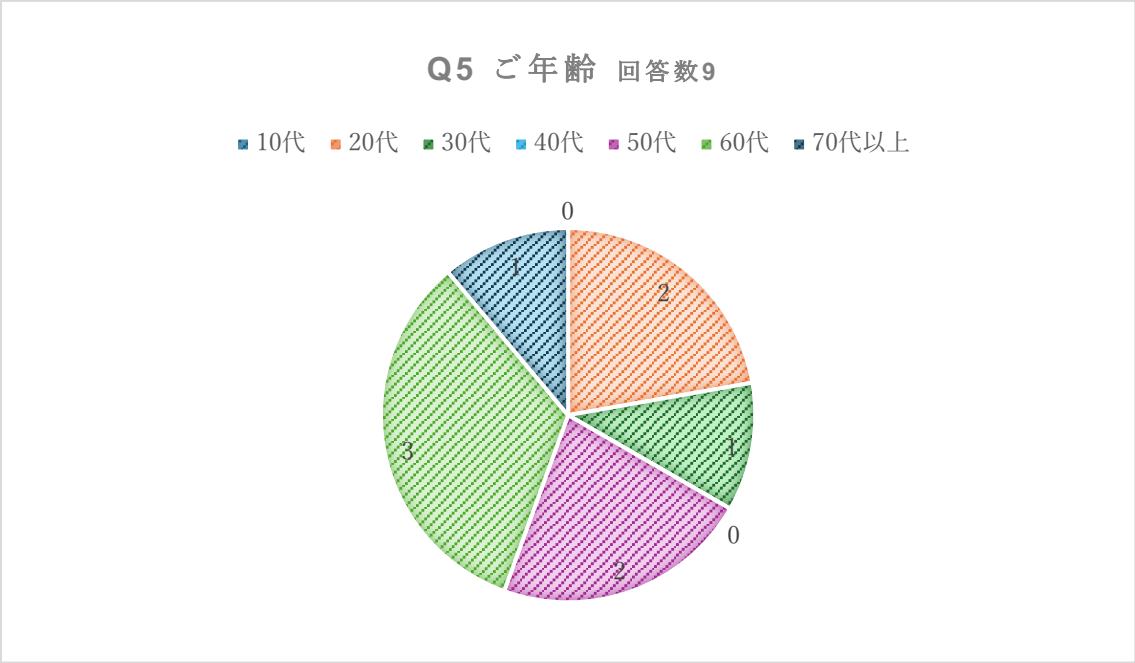
来場者の満足度が高い演奏会進行であったといえる。



良い結果だがさらに良くなる方法も考えていきたい。



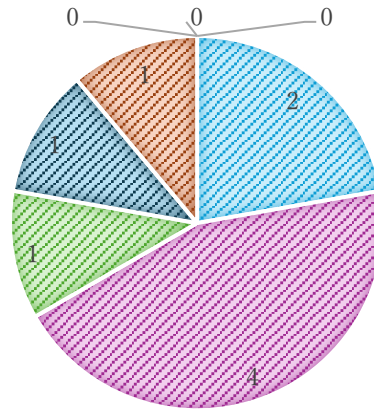
初来場とリピーターの方のバランスが良く、宣伝効果と演奏会の質の良さの両立が良いバランスでできているのではないか。



10代、20代の回答者が少ないのが気になったが、そのほかは様々な年代の人が来場していた。若い年代のアンケート回答、もしくは来場をさらに増やす工夫をしたらよいのではないか。

Q6 ご職業 回答数9

■小学生 ■中学生 ■高校生 ■大学生・大学院生 ■社会人 ■パート ■作曲・演奏家 ■その他



上と同様に若い年代、特に大学生・大学院生のアンケート回答、来場をさらに増やしたい。

5. 総評

第2回TRSサロンシリーズは、新体制となって初となる演奏会であり、至らぬ点多々あったと思われるが、出演者にもお客様にも満足してもらえた演奏会であったと感じている。

反面、アンケートの回答が少なかった点は課題として残る。特に、主に学生である10代20代の回答者の少なさは、今後の企画や広報の方針に関わるため、アンケートの回答を促す工夫を凝らす必要がある。また、アンケート結果から、SNSがきっかけで来場した方がいないという点については、広報面での課題が確認できる。SNSの運用に関しては、以前から課題を感じていたが、今回も改善には至らなかったため、引き続き、より効果的なSNS運用について模索していきたい。

また、資金運用の面でも課題が見られる。「4-4 会計について」においても言及したが、今回は準備不足による出費が見られた。ホールで借用可能なもの、持参する必要があるものなどをしっかり把握しておくことで、当日購入する物品を最適化することができ、効率的な資金運用にもつながると考えられる。

課題も多いが、今回は出演者との交流を盛んに行うことができたという点は、今まで以上に評価されるべき点であると感じている。出演者の方々と積極的に交流することで、委員内にも積極性が生まれ、演奏会全体が活気づくのではないかとと思われるため、今後も出演者の方々との積極的な交流ができるよう、インタビューなどにも精力的に取り組んでい

きたい。

次回は今回よりも大規模な演奏会となるため、委員同士の連絡や交流を活発に図りつつ、見つかった問題点に対策を講じ、出演者にもお客様にもより満足してもらえるような演奏会にしたいと強く感じた。